

どんぐい村の こみ・すく通信

令和 6年 2月 13日発行 令和5年度 第21号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団の活動を紹介<その15> 心の健康を育てる「さらべつほーぷ」の授業

更別小学校5、6年生

12月12日、さらべつほーぷから5名のメンバーが来校し、それぞれの学年の子どもたちに授業をしていただきました。

この授業では、村に赴任しているコミュニティナースの今村さん、西上さん、稲本さんも来校し授業のお手伝いをしてくださいました。

予定では、上更別小学校5、6年生と一緒に授業を受けることになっていましたが、学級閉鎖となってしまう、残念ながら実現できませんでした。



コミュニティナースの皆さん

① 5年生「それぞれがもつ個性(自分らしさ)について知ろう」

「自分らしさ＝個性があるのはすてきなこと」「見方、感じ方は人それぞれ」「違うからおもしろい。だからこそ、お互いを認め合おう」という内容を、「ドラえもん」のキャラクター等をつかって楽しく学びました。

授業者は室矢先生
(更別農業高校)
クラリネットの音色
を聴かせる。子ども
たちはどう感じるか?



② 6年生「もうすぐ中学生」

あと約3か月で中学生になる6年生は、よい言葉をつかうことの大切さ、また、結果を前向きにとらえ、自分のよい所を認める「前

向きな自己会話」について学びました。また、中学校の先生に来校いただき、中学校のことも教えてもらいました。



中学校の島津です。
中学校は自分で考え判断することが増えます



中学1年の先輩から6年生へのメッセージ動画も。



失敗は、成功につながる経験(宝物)にもなります。

中央中2年生

③「いろいろな場面のコミュニケーションでの意思決定」

12月20日、山田祐揮医師(村診療所)とさらべつほーぷメンバー4名が来校し、仲間とのトラブルの場面で「よりよい人間関係を築くための意思決定スキル」と、「顔の见えないオンラインのコミュニケーションでの意思決定、伝え方」を学びました。



一番良いと思う解決方法を選ぶには、stop(止まって)、think(考えて)go(決めよう)のステップを意識して。



オンラインでの子どもたちのやりとりでは、2年団の先生方が大活躍!



グループ協議
「自分のパソコンに、知らない人から推しのDMが来たらどうする?」

改めて上更別小学校5、6年生で

1月31日、12月にできなかったさらべつほーぷの授業を上更別小学校でしていただきました。



5年生、6年生単独、別々の教室で授業実施

「個性について知ろう」の授業